

事業所向け放課後等デイサービス自己評価表(リカバリー花水木)

R6.6 実施・集計

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	0	1	2	・アパートの為人数が多いと厳しい ・自由時間は内容で部屋を分けて支援している ・また室外活動を適宜導入している
	② 職員の配置数は適切であるか	1	2	0	・社内で応援態勢を取ることで配置が適切である様気を付けている
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0	1	2	・入室までに階段がある ・借アパートの為バリアフリー化は難しい
業務改善	④ 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	0	0	・朝礼、終礼にて当日の目標、振り返りを行っている ・一人一人に対して目標や接し方の工夫を共有している事で、同じ目標に進んでいる
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	0	0	・意向等の把握は出来ている ・年に一度アンケートを実施している
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	1	0	・ホームページにて公表している
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	2	1	・対策が取れているのかもしれないが分からない ・職員が把握していない
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2	1	0	・社内研修及び社外研修の機会を設けている ・適宜、必要な研修を行っている ・月1で職員全員でミーティング等行っている

事業所向け放課後等デイサービス自己評価表(リカバリー花水木)

R6.6 実施・集計

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	0	0	・計画作成の際は丁寧な聞き取りを心掛け、一緒に計画内容を作り上げていけるよう工夫している ・子どもからは、来所の際に会話を掘り下げ本人の意志も聞き取る
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	1	0	・会社規程のアセスメントシートを標準使用している
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	0	0	・月1回のプログラムの立案と毎朝に細かな支援内容についての検討を行っている
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	0	0	・四季を通じて季節感を味わえるよう活動内容を工夫している ・月の予定表の打合せをし、意見を出し合っている
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	1	0	・コロナの為範囲は狭くなってしまっているが細かく決めている
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	2	1	0	・集団活動をベースに、支援内容に応じて個別活動を組み合わせている ・個別、集団共に大切にしている
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	0	0	・ミーティングの時間を取って、活動内容や役割分担、必要な支援について打ち合わせを必ず行っている
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	2	0	・終礼時に支援の振り返り、保護者や児発管、施設長からの報告・連絡を行い、共通理解を図っている ・送迎で遅くなったりした場合には、朝の打合せの時間に行っている。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	2	1	0	・支援計画書を基にサービス提供記録を毎日記入し、支援の検証や改善に反映させている
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	2	1	0	・事業所内モニタリングでは専用シート等使って現状を分析し、現在の計画についての見直しが必要かどうか定期的に判断している
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	3	0	0	・計画書に沿って自立支援と創作活動、余暇の提供と自立支援等組み合わせた活動を提供している

事業所向け放課後等デイサービス自己評価表(リカバリー花水木)

R6.6 実施・集計

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	②① 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	2	1	0	・ 児童発達支援管理責任者及び管理者が、状況や会議の内容に応じて必ず参画している ・ 利用者の学校に出向き共通支援や共通理解の場を設けている
	②② 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	3	0	0	・ 学校の行事、下校時刻等については保護者または学校を通じて情報共有を行い、保護者または学校との連絡調整も適宜行っている
	②③ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	1	2	—
	②④ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	0	2	1	・ 相談支援事業所を通して、児童発達支援事業所等との情報共有は出来ている ・ 他の保育所等に放課後等デイサービスの情報を公開していきたい
	②⑤ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	3	0	
	②⑥ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	1	1	・ 自立支援協議会主催の研修や、電話等での相談を通して、積極的に助言等をいただきながら連携を取っている ・ 発達センターが機能していない。
	②⑦ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	0	1	・ 新型コロナウイルス感染予防の為出来ていない
	②⑧ （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	0	2	1	・ 年3回のこども部会及びそれに関係する研修会等には積極的に参加をしている
	②⑨ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	2	1	0	・ 送迎時にサービス提供記録を基に、その日の様子の報告を行っている ・ 電話での相談を受けながら、アドバイス等しながら共通理解を図っている
	③① 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	2	1	・ 行っていない ・ ペアトレーニング支援には専門性が欠ける為、講師を招いての支援を考えたい

事業所向け放課後等デイサービス自己評価表(リカバリー花水木)

R6.6 実施・集計

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	③⑩ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	2	1	0	・契約時に重要事項の説明を必ず行っている
	③⑪ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	0	0	・保護者からの依頼で来所または電話相談に適宜応じて、相談援助を行っている。 ・必要な際には学校に出向き、ケース会議を行っている。
	③⑫ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	1	2	・出来ていない。 ・保護者会を開催しながら不安な事等を皆で共有し、解決出来る様話し合いの場を設けていきたい。
	③⑬ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	0	0	・苦情があった場合はまず保護者との信頼関係の再構築に努め、会社や状況によっては相談支援事業所、家庭児童相談所とも連携しながら対応している。
	③⑭ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	0	3	0	・令和2年7月より会報を発行し、子どもの情報や活動を発信している。 ・会報にて、子どものリカバリーでの様子やお家での支援の仕方を発信している。
	③⑮ 個人情報に十分注意しているか	3	0	0	・契約時に個人情報取り扱いについての説明をした上で同意をいただいている。
	③⑯ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	0	0	・傾聴の時間を大切にし、伝えるタイミングを見極めている。 ・保護者の状況にも配慮しながら相談援助等行っている。
	③⑰ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1	1	・新型コロナウイルス感染予防の為出来ていない。

事業所向け放課後等デイサービス自己評価表(リカバリー花水木)

R6.6 実施・集計

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
非常時等の対応	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	0	3	0	・災害・虐待防止・身体拘束・感染症・防犯等マニュアルは策定済みであるが、定期的に今後も行っていく。
	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	0	0	・総合訓練含め、年4回の避難訓練は実施している ・実施計画書もその都度細かく作成し、消防署に提出している。 ・実際避難するルートも歩いて訓練している
	④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	1	2	0	・チェックシートを活用し、職員に定期的に啓発することで実施している。 ・定期的に勉強会を行っていきたい。
	④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	0	1	・対応を含めた社内マニュアルに順じ、説明・同意を得た上で実施していく。
	④⑫ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	1	1	・現在は保護者の指示に基づいて対応している。 ・アレルギーがある児童の情報は表記し確認できるようされている。
	④⑬ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	1	0	・ヒヤリハット事例集は無い ・ヒヤリハットが起きてしまった際には、すぐに必ず職員全体で話し合い、今後の注意、意識向上に繋げる事が出来る様にしている。